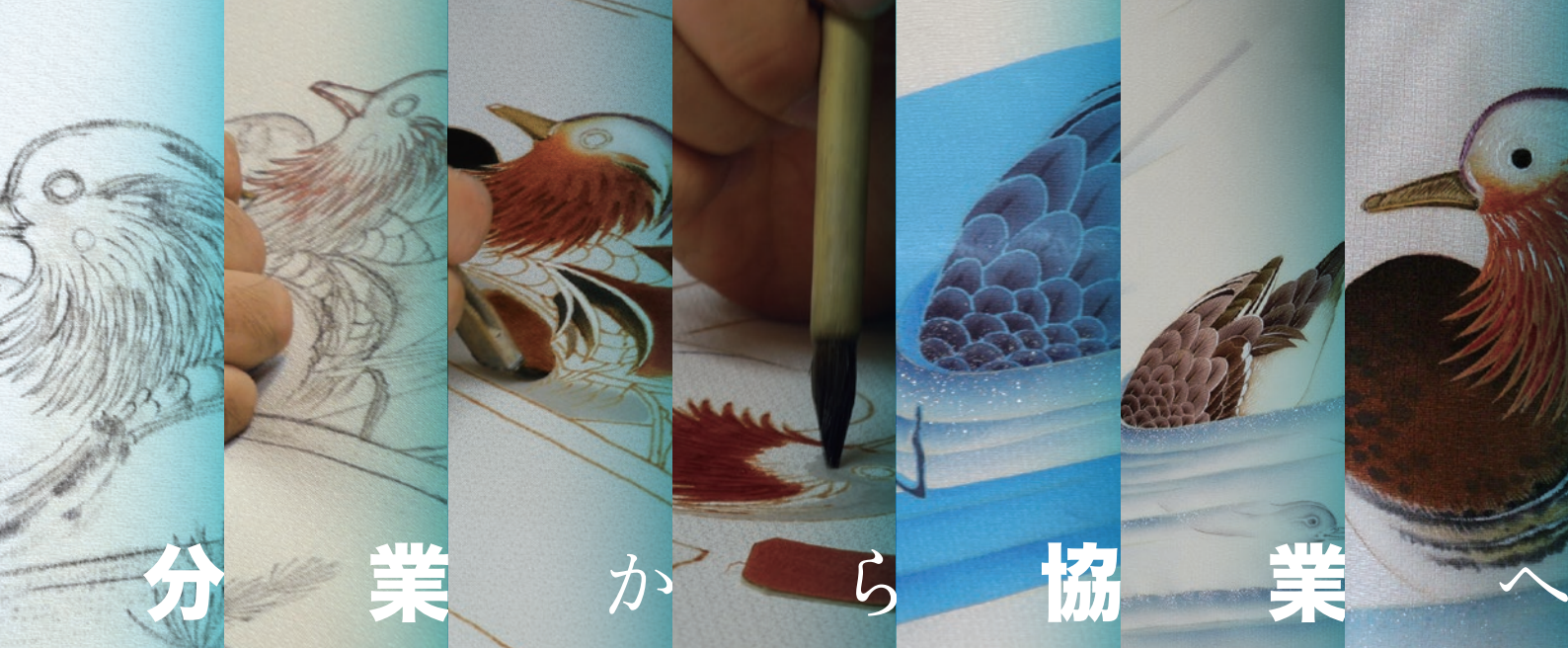




分

業

か

ら

協

業

へ

— 大学が、若冲と京の伝統工芸を未来に繋げる —

2014年 7月 12日 土・13日 日

【時間】 10時 ▶ 19時30分

【会場】 京都文化博物館 別館ホール

〒604-8183 京都市中京区三条高倉東片町 623-1

【入場料】 無料

【問い合わせ先】 立命館大学アート・リサーチセンター

【住所】 〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

【電話】 075-466-3411(代表) ※平日 9:30-17:30

【URL】 <http://www.arc.ritsumei.ac.jp/>

【主催】 文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「京都における
工芸文化の総合的研究」(立命館大学) 木立研究室、
立命館大学アート・リサーチセンター

【共催】 ZONE ぎものデザイン研究所(プロデューサー: 伊藤剛史)、
立命館大学文学部 京都学専攻

【協力】 華道家元 池坊、立命館大学映像学部 細井研究室、
株式会社山本合金製作所、株式会社 京からかみ 丸二、
有限会社鷺野染工場、UVartSCREEN、
伏見人形窯元 丹嘉、
公益財団法人 京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館、
エツコ&ジョー・プライス

【生け花】 高津倫子(華道家元 池坊 京都支部)、立命館大学 Ikebana サークル



型友禅染による「葡萄図」反物
(立命館大学アート・リサーチセンター所蔵)



長い歴史と高い技術力を誇る京都の「伝統工芸」。その特徴のひとつに「分業」という制作スタイルがあります。細かく分かれた製作過程それぞれに独立した専門の職人がおり、各工程でレベルの高い仕事を行うことでより良い形で完成できるのです。しかし、職人の高齢化や売り上げの不振などにより、「分業」のスタイルを含めた従来のモノづくりの方法を継続することは現在困難になりつつあります。

立命館大学文学部木立研究室では、こうした伝統工芸の現状の記録と、伝統工芸のあたらしい形を模索されている職人さんたちの取り組みを応援するため、いくつかのコラボレーション企画を実施してきました。2013年度には、エツコ&ジョー・ブライスご夫妻のご協力を得て、伊藤若冲作品をもとに京友禅の着物を ZONE きものデザイン研究所 (www.zone-kimono.com) と協力して制作しました。さらに華道家元池坊のご協力を得、「伝統」の継承と新たな創造を目指す本展の趣旨を作品で表現していただきます。

大学という異分子が加わることにより、職人たちがそれぞれに仕事をおこなう「分業」から、ともに力をあわせさらなる発展をとげる「協業」へと進化する。伝統工芸を未来へ繋げる私たちのチャレンジをご覧ください。



立命館大学と職人の様々なコラボレーション作品

【関連イベント】

ギャラリー・トーク 【入場無料・事前予約不要】
日時：7月12日(土)・13日(日) [両日]14:00～／16:00～

立命館大学が、伝統工芸の今を考える



伊藤若冲「葡萄図」(部分)
©エツコ&ジョー・ブライスコレクション

分業 から 協業 へ — 大学が、若冲と京の伝統工芸を未来に繋げる —

【会期】2014年7月12日(土)・13日(日) 【開場時間】10時～19時30分
【会場】京都文化博物館 別館ホール 【入場料】無料
【問い合わせ先】立命館大学アート・リサーチセンター
【住所】〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1
【電話】075-466-3411(代表) ※平日 9:30-17:30 【URL】http://www.arc.ritsumeai.ac.jp/



京都文化博物館 別館ホール
〒604-8183 京都市中京区三条高倉東片町623-1
※地下鉄「烏丸御池」駅下車、徒歩3分。
http://www.bunpaku.or.jp/

